国民年金

新成人の皆さんへ20歳から全員が加入！国民年金

国民年金は未来のあなたの生活を支えます！！

●問合先 土浦年金事務所 ☎029-824-7121 / 市役所国保年金課 年金G 内線105、106

日本に住む20歳以上60歳未満の全ての方が加入し、保険料を納めることになっています。**【国民年金は国が責任をもって運営しています】** 現在年金を受給している世代の生活を支えるための保険料を現役世代が負担し、将来自分が受給者になった時は次の世代に支えてもらうという仕組みで、受け取る年金額の一部を国が負担し、給付は生涯にわたり保障されます。

【老後の年金だけではありません】 国民年金には、老後の生活費の基礎となり、一生涯年金が受け取れる「**老齢基礎年金**」のほかに、国民年金加入中に事故や病気で障がいが残った場合に支給される「**障害基礎年金**」、死亡した時に生計をともししていた遺族に支給される「**遺族基礎年金**」があります。しかし、加入の届出や保険料の納め忘れがあると、年金が受けられないこともありますので、「あの時払っておけば…、手続きしておけば…」と後悔する前に国民年金に加入し、納付しましょう。

【税制上も有利です】 納めた保険料は、全額が社会保険料控除の対象です。

◆国民年金の加入者は次の3種類に分かれ、加入手続きや納付方法が違います

	第1号被保険者	第2号被保険者	第3号被保険者
加入者	学生、アルバイト、自営業、無職など日本に住む20歳以上60歳未満の方	厚生年金や共済組合に加入している会社員や公務員の方	厚生年金や共済組合の第2号被保険者に扶養されている20歳以上60歳未満の妻（夫）
加入 手続先	市役所国保年金課または年金事務所	勤務先	第2号被保険者の勤務先
保険料	自分で納付（平成25年度） 定額保険料 月額15,040円（加入者全員） 付加保険料 月額400円（希望者のみ）	給与天引き （労使折半で保険料負担）	自分で納める必要はありません。 ※第2号被保険者が加入する制度全体が負担

◆20歳になったとき 20歳の誕生月の初旬（1日生まれの方は前月初旬）に年金事務所から「国民年金被保険者資格取得届書」が送付されます。必要事項を記入して、市役所国保年金課または年金事務所に提出してください（届かない場合は年金事務所までお問い合わせください）。後日年金事務所から年金手帳と国民年金保険料の納付書が郵送されます。

※既に就職して厚生年金や共済組合などに加入中の場合は、手続き不要です。

国民年金 知って安心！ Q&A

Q 保険料はどうやって納めるの？

A 納付書を使って、金融機関やコンビニエンスストアで現金納付できます。希望により、口座振替やクレジット納付、電子納付もできます。前納制度もありますので、詳細は年金事務所までお問い合わせください。

Q 保険料が払えない！ どうすればいいの？

A 今すぐ保険料を納めるのが困難な場合に、学生には「**学生納付特例制度**」（学生証や学生であることの証明が必要）、30歳未満の方には「**若年者納付猶予制度**」（本人・配偶者の前年所得が一定額以下）があります。申請をすることで保険料の納付が猶予され、後払いができます。国民年金の加入手続きと一緒に申請手続きをしてください。猶予を受けた期間は、受給資格期間に加算されます。

Q 将来、少しでも多く年金を受けたいので、増やす方法はありませんか？

A 「**付加年金**」制度があります。第1号被保険者（および任意加入者）の方は、定額保険料に付加保険料（月額400円）を追加して納めると将来受け取る基礎年金に付加年金が上乗せされます（申し込んだ月分から納付可）。**付加年金の年金額（年額）**

200円×付加保険料納付月数

付加保険料は、当該月の翌月末の納付期限までに納付できない場合は辞退したとみなされ、再度申し出が必要になります。

上乗せ年金として、国民年金基金もあります。詳細は、茨城県国民年金基金（☎029-225-4797）にお問い合わせください。なお、付加年金と国民年金基金の二重加入はできません。